

平成24年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年6月11日

上場取引所 大

上場会社名 総合商研株式会社

コード番号 7850 URL <http://www.shouken.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 加藤 優

問合せ先責任者 (役職名) 企画管理本部課長 (氏名) 太田 健一

TEL 011-780-5677

四半期報告書提出予定日 平成24年6月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年7月期第3四半期の連結業績(平成23年8月1日～平成24年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年7月期第3四半期	11,299	17.4	368	164.5	379	167.0	171	224.2
23年7月期第3四半期	9,627	—	139	—	142	—	52	—

(注) 包括利益 24年7月期第3四半期 218百万円 (181.8%) 23年7月期第3四半期 77百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年7月期第3四半期	57.72	—
23年7月期第3四半期	17.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
24年7月期第3四半期	7,280	24.7	1,801	24.7		
23年7月期	6,663	24.4	1,634	24.4		

(参考) 自己資本 24年7月期第3四半期 1,799百万円 23年7月期 1,626百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年7月期	—	7.00	—	8.00	15.00
24年7月期	—	7.00	—	—	—
24年7月期(予想)	—	—	—	8.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年7月期の連結業績予想(平成23年8月1日～平成24年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,600	13.3	210	—	210	—	120	—	40.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年7月期3Q	3,060,110 株	23年7月期	3,060,110 株
② 期末自己株式数	24年7月期3Q	104,373 株	23年7月期	82,518 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年7月期3Q	2,971,295 株	23年7月期3Q	3,044,116 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるものの、個人消費が底堅く推移するなど、緩やかな持ち直しの動きが続いております。しかしながら、継続的なデフレ状況、消費税増税に向けた動きなど、未だ先行きは不透明な状況にあります。

当社グループが位置する印刷業界におきましても、震災後に落ち込んだ企業の広告宣伝費は未だ回復が遅れており、同業者間の競争は激化する一方であります。

このような環境の中、当社グループは、商業印刷事業における受注拡大を目指すとともに、年賀状印刷事業におきましては、大口取引先である郵便局株式会社からの受注に対応すべく生産体制の強化を図り、事業の運営に努めてまいりました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は11,299百万円（前年同四半期比1,671百万円増）となりました。

利益につきましても、年賀状の販売が好調に推移した結果、営業利益は368百万円（前年同四半期比229百万円増）、経常利益は379百万円（前年同四半期比237百万円増）、四半期純利益につきましては171百万円（前年同四半期比118百万円増）と、それぞれ増益となりました。

なお、当社グループの利益は、第1四半期は年賀状印刷の資材・販売促進費等の先行支出により低下、第2四半期は年賀状印刷の集中及び商業印刷の年末商戦の折込広告の大量受注により売上が拡大することにより増加、第3四半期・第4四半期は年賀状印刷事業は固定費のみが発生することにより、売上高に対する経費割合が高くなり利益が低下するという季節的変動があります。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

(商業印刷事業)

商業印刷事業においては、新規営業の強化や、既存クライアントとの取引拡大の推進を行った結果、当事業の売上高は7,537百万円（前年同四半期比479百万円増）となりました。

しかしながら、利益につきましては、事業拡大に伴う人件費の増加等により、営業損失は261百万円（前年同四半期の営業損失は187百万円）となりました。

(年賀状印刷事業)

年賀状印刷事業においては、パック年賀状の取扱件数は203万パックと前年同四半期比118万パックの減少となりましたが、名入れ年賀状の取扱件数につきましては、郵便局株式会社の大口受注に伴い、前年同四半期比46万件増加の127万件となったことから、当事業の売上高は3,727百万円（前年同四半期比1,196百万円増）と、増収となりました。

また、利益につきましても、営業利益は829百万円（前年同四半期比291百万円増）と、増益となりました。

(その他)

その他においては、北海道内の2店舗のプリントハウスにおいて、DPE、オンデマンドプリント等の商品・サービスの提供を行ってまいりましたが、売上高は33百万円（前年同四半期比4百万円減）、営業損失は7百万円（前年同四半期の営業損失は3百万円）となりました。

(2)連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は7,280百万円となり、前連結会計年度末に比べ616百万円増加しました。これは主に受取手形及び売掛金が95百万円増加したこと、年賀はがき等の原材料及び貯蔵品が185百万円増加したこと、投資有価証券が71百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は5,478百万円となり前連結会計年度末に比べ449百万円増加しました。これは支払手形及び買掛金が93百万円増加したこと、未払法人税等が216百万円増加したこと等によるものであります。

純資産合計は1,801百万円となり前連結会計年度末に比べ166百万円増加しました。これは主に利益剰余金が127百万円増加したこと、有価証券評価差額金が51百万円増加したこと等によるものであります。

(3)連結業績予想に関する定性的情報

平成24年7月期の業績予想につきましては、平成23年9月12日付「平成23年7月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(法人税率の変更等による影響)

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以降に開始する連結会計年度から法人税率の引き下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定の実効税率は従来の40.40%から、平成24年8月1日に開始する連結会計年度から平成26年8月1日に開始する連結会計年度までに解消が見込まれる一時差異等については37.71%に、平成27年8月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異等については35.33%となります。この税率変更による影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,632,305	1,395,374
受取手形及び売掛金	1,446,386	1,541,880
有価証券	—	24,582
商品及び製品	10,950	6,535
仕掛品	12,011	2,528
原材料及び貯蔵品	286,346	471,763
その他	90,958	140,691
貸倒引当金	△26,706	△28,448
流動資産合計	3,452,252	3,554,909
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	753,742	732,192
土地	972,492	972,492
その他(純額)	606,420	991,509
有形固定資産合計	2,332,655	2,696,194
無形固定資産		
その他	94,988	167,682
無形固定資産合計	94,988	167,682
投資その他の資産		
投資有価証券	453,197	524,404
関係会社株式	15,460	2,617
その他	343,287	362,742
貸倒引当金	△27,954	△28,462
投資その他の資産合計	783,991	861,301
固定資産合計	3,211,634	3,725,178
資産合計	6,663,886	7,280,088
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,329,615	1,423,555
短期借入金	785,486	752,671
未払法人税等	7,869	223,968
賞与引当金	10,366	32,286
その他	330,136	520,726
流動負債合計	2,463,473	2,953,206
固定負債		
長期借入金	2,025,617	1,951,056
資産除去債務	7,441	7,558
その他	532,457	566,445
固定負債合計	2,565,515	2,525,060
負債合計	5,028,989	5,478,267

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	411,920	411,920
資本剰余金	441,153	441,153
利益剰余金	734,588	862,336
自己株式	△22,349	△29,127
株主資本合計	1,565,312	1,686,282
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	61,607	112,845
その他の包括利益累計額合計	61,607	112,845
少数株主持分	7,976	2,692
純資産合計	1,634,897	1,801,821
負債純資産合計	6,663,886	7,280,088

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年8月1日 至平成23年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年8月1日 至平成24年4月30日)
売上高	9,627,456	11,299,063
売上原価	6,817,082	7,832,019
売上総利益	2,810,373	3,467,043
販売費及び一般管理費		
運賃	421,152	655,598
給料及び手当	1,009,346	1,083,258
賞与引当金繰入額	24,932	26,438
その他	1,215,594	1,333,152
販売費及び一般管理費合計	2,671,025	3,098,447
営業利益	139,347	368,596
営業外収益		
受取利息	40	59
受取配当金	3,037	3,540
受取賃貸料	17,441	23,790
作業くず売却益	12,920	14,064
その他	23,013	31,342
営業外収益合計	56,453	72,796
営業外費用		
支払利息	44,011	43,229
持分法による投資損失	9,461	7,028
為替差損	33	11,051
その他	82	336
営業外費用合計	53,588	61,646
経常利益	142,212	379,746
特別利益		
関係会社株式売却益	—	8,121
固定資産売却益	1,000	—
貸倒引当金戻入額	4,783	—
その他	79	—
特別利益合計	5,863	8,121
特別損失		
固定資産除却損	7,476	18,671
投資有価証券評価損	243	28,778
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	4,287	—
特別損失合計	12,006	47,450
税金等調整前四半期純利益	136,069	340,418
法人税、住民税及び事業税	65,266	218,984
法人税等調整額	22,210	△45,459
法人税等合計	87,476	173,525
少数株主損益調整前四半期純利益	48,592	166,893
少数株主損失(△)	△4,310	△4,611
四半期純利益	52,903	171,505

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年8月1日 至平成23年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年8月1日 至平成24年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	48,592	166,893
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28,808	51,237
その他の包括利益合計	28,808	51,237
四半期包括利益	77,401	218,131
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	81,711	222,743
少数株主に係る四半期包括利益	△4,310	△4,611

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年8月1日至平成23年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損 益計算書計上 額(注3)
	商業印刷 事業	年賀状印刷 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,058,059	2,531,223	9,589,283	38,173	9,627,456	—	9,627,456
セグメント間の 内部売上高又は振替高	20,563	1,363	21,927	4,062	25,990	△25,990	—
計	7,078,623	2,532,586	9,611,210	42,236	9,653,446	△25,990	9,627,456
セグメント利益 又は損失(△)	△187,318	538,165	350,846	△3,273	347,573	△208,225	139,347

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プリントハウス事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△208,225千円には、セグメント間取引消去3,294千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△211,520千円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において関連会社であった株式会社味香り戦略研究所の株式を追加取得し当社の連結子会社となったため、またその後において第三者割当増資により株式を追加取得したため、「商業印刷事業」セグメントにおいてのれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において13,509千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年8月1日至平成24年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損 益計算書計上 額(注3)
	商業印刷 事業	年賀状印刷 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,537,950	3,727,860	11,265,810	33,253	11,299,063	—	11,299,063
セグメント間の 内部売上高又は振替高	13,382	3,371	16,753	2,260	19,013	19,013	—
計	7,551,332	3,731,231	11,282,563	35,513	11,318,077	19,013	11,299,063
セグメント利益 又は損失(△)	△261,618	829,999	568,380	△7,186	561,194	△192,597	368,596

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プリントハウス事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△192,597千円には、セグメント間取引消去7,064千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△199,662千円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、当社の連結子会社である株式会社味香り戦略研究所の株式を追加取得したため、「商業印刷事業」セグメントにおいてのれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において585千円であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自平成23年8月1日至平成24年4月30日)

該当事項はありません。